

地すべり事業 (古屋敷地区) の効果について

重要交通網等の保全対策の推進について

〈 山梨県 南巨摩郡 身延町 古屋敷地内 〉

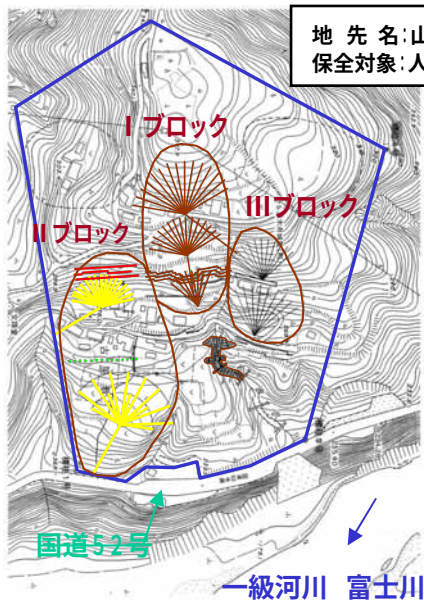


事業概要

古屋敷地区は、山梨県の南部、南巨摩郡身延町に位置し、国道52号西側斜面上の古くからの地すべり危険区域である。平成12年9月11～12日の豪雨により、地すべり（Iブロックに地すべり規模 長さ70m 幅40m 移動土砂量8,400m³）が発生し、付近住民（8世帯 31名）が近くの公民館に緊急避難し被災をまぬがれた。

また、地元経済を支える国道52号は交通量が年々増加状況（平成11年平日自動車交通量11,740台／日）であり、古屋敷地すべり対策事業を推進し安全な輸送路を確保していく。

地 先 名: 山梨県南巨摩郡身延町古屋敷地内 (古屋敷地区)
保全対象: 人家13戸、国道52号300m、町道900m



古屋敷地区全景



災害状況 (平成12年9月発生)

重要交通網である国道52号等が保全され、広域的な物流の遮断や社会経済的に極めて重大な被害の発生防止に貢献！！



国道52号

平成12年9月に被災を受けた写真。
地すべりが起き国道52号まで、土砂が流出した。



国道52号

平成14年6月に撮影した状況写真。
抑制及び抑止工を施工中。事業進捗率65%